

【参加者からの主な意見について】

項目	意見等	対応等
訓練全体 について	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜこの時期に訓練を実施したのか。 ・真夏の実施は暑さが厳しいため、実施時期を検討してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本格的な台風シーズン（8月～10月）を迎える前に訓練を実施する必要があるため、今年度は、7月に人事異動があったため新体制になってから訓練を実施することとしました。 ・夏場の避難所運営にあたり、必要な資機材や熱中症対策など、改めて課題を把握する機会となりました。 ・ご意見などを踏まえ、次年度以降の実施時期については検討します。
	<p>実災害時には学校設備の知識等も必要になるため、学校側（教職員）も訓練に参加してもらった方がいい。</p>	<p>教職員の訓練参加については、任意により可能な範囲でお願いしているところであり、今回の訓練においても学校により教職員も参加していただいているところです。</p>
	<p>防災対策課以外の職員で避難所運営をすることは難しいため、事前の訓練は重要だと感じた。</p>	<p>各担当職員に防災対応についての手順を習得してもらうため、今後も繰り返し訓練を重ねていきます。</p>
	<p>コミュニティは日頃から訓練しており、避難所担当職員より理解している部分が多い。 実際の避難所運営は職員が中心となって行うため、市職員がコミュニティに指示を出せるように普段から訓練をするべきではないか。</p>	<p>人事異動等により人員が代わってしまうこともありますが、今後も継続して様々なシナリオにより市担当職員への訓練、研修等を定期的実施します。</p>
	<p>備蓄倉庫と体育館の距離が遠いため、移設等を検討してほしい。</p>	<p>今年度すでに各備蓄倉庫等の実態調査を実施しており、その結果をもとに、移設や舗装等の対応を検討します。</p>
備蓄倉庫・資機材 等について	<p>備蓄倉庫内の配置レイアウトはあるが、備蓄品がわからないため改善してほしい。</p>	<p>備蓄品の配置については、配置図等の改善及び表示等の工夫を検討します。</p>
	<p>発電機のエンジンオイルは、定期的な交換が必要ではないか。</p>	<p>今年度、市が管理する発電機についてオイル交換を実施予定です。</p>
	<p>パーティションや投光器などの数足りないのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・パーティションは、各避難所とは別に拠点倉庫にも備蓄してあり、不足した場合は随時、各避難所へ補充が可能です。 ・投光器等の照明器具については、今後検討します。
	<p>カセットコンロやソーラー設備などの導入も検討してほしい。</p>	<p>今後、整備を検討します。</p>

	タブレットは Wi-Fi モデルではなく、SIM フリーモデルがいいのではないかな。	ランニングコストの問題もあり、Wi-Fi モデルを選択していますが、通信回線の多重化等を検討します。
避難者振り分けについて	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症患者、体調不良者のために、学校の保健室を開放してほしい。 ・避難者の振り分けでは、感染者のみ学校教室に案内することになっているが、体調不良者も空調の整っている教室を案内した方がよい。乳幼児なども泣き声が気になるため、体育館ではない別室を案内できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校2箇所程度、空調が整備されている教室を開放していただけるよう調整しています。 ・上記を踏まえ、体調不良者等についても、臨機応変に対応いただくようお願いいたします。
	避難者チェックシートに、「職業欄」を追加できないか。医療従事者等が避難していた場合に協力をお願いできるかもしれない。	市への協力は、あくまでも本人からの申し出によるものとなります。
市の防災体制について	避難者数によっては、避難所運営班4名では人数が足りないのではないかな。	災害の状況によって追加派遣を検討しますが、大規模災害になるほど難しくなることが予想されることから、自主防災組織に協力をお願いしているところです。
	避難所（学校）の配置等を把握している学校側の協力も必要かと思う。	実災害時における避難所の開設・運営は市が主体となり行いますが、災害の規模や状況により学校側にも協力を要請することとなります。
	避難所の開設基準が浸透していないと感じる。	改めて周知します。
	開設担当より、自主防災組織の方が早く到着することも想定されるため、その際の対応等について事前に調整できればと思う。	避難所班・開設担当・コミュニティで連絡を取り合い、状況によって臨機応変に対応することが大切と考えます。
	保健師を避難所に常駐できないか。	避難所開設時には、保健センターに保健師が待機しており電話やテレビ電話等で問診を行うこととしています。
	小中学校を両方開設する場合、コミュニティはどう動けばいいかを事前に決めていただきたい。	小学校を基本とし、中学校については可能な範囲で協力をお願いします。
	真夏の避難所対応のために、ポロシャツなどの夏用防災服を導入するとういと思う。	今後、導入について検討します。
	給水タンク設置訓練、マンホールトイレ設置訓練、ペットの受入れ等の避難訓練、車中泊の受入れ訓練なども実施してほしい。	訓練内容については、各地区の自主防災訓練において実施していただくよう様々な訓練を提案しているところです。

その他	<ul style="list-style-type: none">・説明者は拡声器を使用するなど参加者全員に説明内容が伝わるようにすべき。・今回の訓練は本部事務局から時間ごとに各種訓練開始のアナウンスがあり進められたが、各会場では参加人数が異なることもあり、訓練内容によって間延びしてしまう場面もあった。	備蓄倉庫にある各資機材を有効に使用していただくことや、時間内で人員を交代しながら繰り返し訓練を実施してもらうよう細部までアナウンスするなど貴重な訓練の機会がより有意義なものとなるよう、次回以降の訓練の進め方などにいかしていきます。
-----	--	---